

梅雨期の保育衛生

醫學博士 廣瀬興

我國は残念ながら、歐米文明國に比するに小兒死亡の極めて高率の國である。試みに最近の各國の乳兒死亡率を比較して觀るに次の如くである。

各國乳兒死亡率(生産百に付一歳未満者死亡)

日本	一四・二	二二・四	一三・二
英國	七・四	六・〇	六・六
佛國	九・五	七・八	七・六
伊國	一二・五	—	—
獨國	九・六	八・四	八・三
奧國	一一・三	一〇・六	—
白國	一〇・四	—	—
和蘭	五・九	五・九	五・〇

即ち、我國に於ては百人赤子が生れて誕生を迎えるもの

約八六人にて、一四人は一年未満にて死亡するといふ割合で、歐米諸國の約二倍の高率である。而してその死亡の原因を見るに

原因別乳兒死亡(昭和四年)

- 一 先天性弱質(畸形を含む) 三二・九
- 二 下痢及腸炎 三一・〇
- 三 肺炎及氣管枝炎 一三・五
- 四 腦膜炎 八・五
- 五 初生兒固有疾患 六・八
- 六 急性氣管枝炎 五・三
- 七 其他の疾患 三四・〇

即ち、兩親、體質の薄弱、性病、結核等のための先天性弱質を除けば最も多いのは下痢腸炎であつて、然も六七月の頃の梅雨期が最も高率を示してゐるのである。次は肺炎及

氣管枝炎で之は一二月の冬期に高率を示してゐる。この關係は幼児に對しても同様である。梅雨期に於ける胃腸病は小兒にまつて最も恐るべき疾病であつて殊に疫痢の豫防に付いては充分の考慮が必要である。

何故、梅雨期は下痢腸炎が多いか、云ふに温度の高いため食物其他が腐敗し易く黴菌の繁殖に適するこゝもその原因ではあるが、同時に我國は四面海もて圍まれた島國であるため、温度の高いと同時に又極めて湿度の高いこゝが重大の影響を及ぼしてゐるであらう。我々身體は産熱作用と放熱作用とが調和せるこゝき初めて健康を保つのであるが、身體の周圍の湿度が高く而も温度が高いと體内の過剰の熱を體外に出し得ず（放熱作用は全身皮膚面、便通、呼吸等によりて行ふ）所謂、鬱熱の状態となり、之を防がんとして遂ひに下痢といふ症狀を來するのである。故に乳幼児の如く體重の割合に極めて多量のエチルギー即ち榮養素を要求し、盛んに新陳代謝が行はれるものは一層梅雨期に鬱熱の状態を防がねばならない。

湿度が高く猶温度を低けるこゝが出来ないこゝきは通風を

よくしてやるこゝが大切である。嚴格に云へば無風の時には濕球計が華氏五十六度のこゝきが最も健康に適し、若し湿度が上昇して六十八度になれば餘程通風をよくして一分間五百呎の氣流でなければならぬといふ割合である。

家庭や幼稚園に於ては寒暖計を求め代りに濕度計（一圓五拾錢位のものもある）を使用すべきである。

室内の濕氣を防ぐと同時に衣服をよく日光に曝らし、薄著せしめよく風にサボし、又度々入浴せしめるこゝき、又寝冷をさせぬこゝきが大切である。又、食物の腐敗し易い時であるが、調理後時日の経たもの、包装されたもの（内部にカビの發生するこゝきあり）、牛乳等は小兒に與へる直前に特に今一度注意すべきである。

食物の不消化物は勿論急性胃腸病や疫痢の原因となるが最も多いのはそれ等を食へ合せをするこゝきである。東京で千四十人の子供の疫痢になる直前に食したものを檢したら次の如くであつた。

- 一、菓子類 アンパン・羊羹・密豆・豆入餅……二百六十人
- 一、副食物 イカ・タコ・天婦羅・金團・卵燒……二百十九人

一、果物類 バナ、青梅、櫻桃、西瓜……………二百十五人

一、飲料水 蜜柑水・氷水・ラムチ・アヅキア

イス・生水……………百七十二人

一、露店物 ドン／＼焼・トコロテン・御好

焼・焼鳥……………六十人

一、青物類 枝豆・玉蜀黍とうもろこし・まくわうり……………三十二人

一、其他 おでん・赤飯……………八十二人

以上の如く一つ一つに付いては特別に悪いものは云へぬが、多くは古いもの、未熟のもの、飲み過ぎ、食べ過ぎ特に一時に色々のものを喰べ合せた場合に多い。

梅雨期に於て最も恐しき胃腸病は疫痢であつてこの病に付いては誰れも正しい理解を以て充分の手當をせねば小児の生命を失ふであらう。

疫痢に患かるゝ如何なる症状を呈するかさいふに、

(一) 疫痢にかゝるゝ今迄活潑に遊んでゐた小児が急に元氣がなくなり、身體一體が倦怠様な様子を示し、生あくびを發し、疊の上で腹ばいになりゴロ／＼したり常時さ變つた唯ならぬ様子を感じしめる。

(二) 發熱し甚しきは四十度にも上昇する。

(三) 惡心嘔吐し一層脱力する。

(四) 大便は回数餘り多くないが初め綠色であつたり、ブツ／＼を混じ不消便、チバ／＼の鼻汁の如きを混へ、糊の生煮の如きを混へた粘液便又惡臭を放つ如きものある。

(五) 疫痢は赤痢と違つて腹部のしぶるこみが少い場合が多く又腹部が多少陥没して觸れるゝ非常に軟かで丁度綿を攪むが如き、又は挽きたての餅に觸るゝが如き感がある。

(六) 一般に疫痢の時は中毒症状のため脳症を發し人事不省、ヒキツケを來し易いのが特長で遂ひには嗜眠昏睡して眼をつり上げ段々心臟麻痺にて死に至るのである。

早く充分の手當をせねば發病後十時乃至二十四時間にて死亡するこゝあり、殊にコーヒの出し殻の如き黒褐色の渣を吐く様になればこれは吐血の一種で重症で多くは死亡するものである。本病にかゝるゝ百人中七十人は生命をミられるこゝいふ死亡率である。

疫痢の手當は前述の如く一般の衛生が最も大切である。萬一その症状が現れゝば直ちに醫師を呼び適當の手當をせ

ねばならぬが疑の軽いときでも不消化物や喰べ合せして腹痛あり、便通のないとき、リスリン水(リスリンニ水當分)

二十瓦の灌腸、ヒマシ油十五瓦乃至二十瓦の服用せしめ腸の内容を排出せしめることは良いことである。本病にかゝつたときは、番茶や麥湯の他は何物も與へず、頭部を冷し、腹部を温濕布し靜かに臥牀せしめ醫師を待つべきである。

醫師は心臟機能を高めるために注射し、生理的食鹽水其他の皮下注入、時には輸血をする場合もある。又洗腸、注腸を行ひ、ひたすら腸内毒物の排出に努めるであらう。

これ等は一般の胃腸病に付いても大切のことで梅雨期に於て特に注意すべきことである。

疫痢に限らず他の腸病でも傳染することがあるが便に汚れたものはよく消毒することが大切である。次に家庭常備の消毒薬を上げれば

(一) クレゾール水(約三十倍)

手指、其他糞尿、吐物には同容量を加へて攪拌す、器具室内は擦拭又は撒布。

(二) 石灰乳(十倍)

吐物排出物の四分の一容量を混す。

(三) クロール石灰水(二十倍)

石灰乳に同じ目的又は井戸水、野菜の消毒に用ゆ。野菜の消毒は保土ケ谷液の方便なり。

(四) フォルマリン法

一升鋸屑に二〇乃至二五倍フォルマリン水三合三勺を浸し疊一枚の割に撒布して室内消毒に用ゆ。室を成べく密閉して二十時間放置するがよし。又この法は衣服を戸棚にかけ消毒するに便にして結核菌の場合に用ひらる。

